

LOCATION ロケーション

私たちのまちの
美しい風景がたくさん
田川市ロケ地マップが完成

本作はオール田川ロケで撮影。映画冒頭に登場する大きなロープジャングルジムがある田川中央公園、物語のカギとなる「幸せ」に重要な意味を持つ存在として描かれる石炭記念公園の二本煙突など、劇中には私たちの見慣れた風景が数多く登場します。

今回、映画に登場するロケ地を場面や地図にまとめた「田川市ロケ地マップ」が完成しました。このマップを片手に、映画「夏、至るころ」で撮影に使われたロケ地を巡ってみませんか。配布場所など詳しくは問い合わせください。



ぼくらの レシピ 図鑑

「ぼくらのレシピ図鑑」は「地域」×「高校生」×「食」をテーマにした青春映画制作プロジェクト。第1弾は、兵庫県加古川市を舞台にした『36.8°C サンジュウロクドハチブ』（安田真奈監督・脚本）。第2弾が、本市を舞台にした『夏、至るころ』です。本作に登場する「パブリカのピクルス」や「ホルじゃが」は、住民参加の「食」のワークショップでアイデアが生まれました。

第21回 全州国際映画祭
シネ・フェスト部門 招待作品

第23回 上海国際映画祭
インターナショナル・パノラマ部門 招待作品

「夏、至るころ」公式サイト <http://www.natsu-itarukoro.jp>

DIRECTOR ディレクター

田川の大好きなところが
詰まった作品を楽しんで。



池田エライザ 監督

2011年に映画「高校デビュー」でデビュー後、主演作「一礼して、キス」「貞子」、話題作「SUNNY 強い気持ち・強い愛」「賭ケグルイ」など映画に精力的に出演。女優やモデルのほか映画製作にも活動の幅を広げており、本作「夏、至るころ」が初監督作品となる。

STORY ストーリー

田川市を舞台に
幼なじみの少年たちと、
不思議な少女の
ひと夏の胸騒ぎ。

高校3年生の翔と泰我は、子どもの頃からの親友で、ずっと一緒に和太鼓の訓練をしてきた。夏祭りを前にしたある日、泰我が受験勉強に専念するため太鼓を辞めると言い出す。それを聞いた翔は愕然とする。自分は何がしたいのか、どうしたらいいのかわからない…。そんな2人の前に、ギターを背負った不思議な少女・都が現れる…。

ついに公開

映画が完成し、公開を待つ私たちの前に、新型コロナウイルス感染症という大きな壁が立ちちはだかりました。さまざまな業種が休業や営業縮小を選択。映画業界も例外ではありませんでした。経済活動が徐々に再開され、国際映画祭でも高く評価された本作の公開を待ち望む声が高まる中、待ちに待った公開日が決定しました。

12月4日、映画「夏、至るころ」が公開されます。

池田監督が本市を訪れ、人の温かさや緑あふれる景色に魅せられて紡いだ物語。現代の若者の不安や葛藤、生きる力をリアルに表現した本作。私たちのまち田川が、見慣れたその景色が、映画のスクリーンでみずみずしく映し出されます。本市で描かれたひと夏の青春を、ぜひ劇場でご覧ください。

映画の世界は続く

住民のアイデアから生まれ、映画を彩った食の数々。映画が切り取った美しい風景。田川の魅力がたくさん詰まった「夏、至るころ」は、かけがえのない地域の財産です。市は、映画をさらに楽しんでもらえるよう、ロケ地マップの作成や映画に登場する食の商品化などに取り組んでいます。スクリーン先の続く映画の世界を、見て、食べて、味わいましょう。



夏の魔法に魅せられて
世界が彩り豊かになっていく
忘れられない思い出が生まれる
監督 池田エライザ

“夏、至るころ” 12.4 金 公開決定



©2020「夏、至るころ」製作委員会

新進気鋭の新人と 豪華俳優陣が集結

昨年、市内で撮影が行われた池田エライザさん初監督作品の映画「夏、至るころ」。これは、緑あふれる故郷で友情を育んできた男子高校生の翔と泰我が、自分の人生と向き合い、それぞれの1歩を選び取る物語です。

翔を演じるのは、映画初主演の倉悠貴さん、泰我役には全国オーディションで選ばれた本作で俳優デビューを飾る石内呂依さん、謎の少女である都を、数々のCMで人気沸騰のさいとうなりさんが演じました。さらに、リリー・フランキーさん、原日出子さん、高良健吾さん、安部賢一さん、杉野希妃さん、大塚まさじさんら実力俳優が脇を固めます。

国際映画祭で喝采

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、数々の国際映画祭が中止や縮小開催などを余儀なくされました。各映画祭で上映作品が厳選される中、本作が2つの国際映画祭から正式に招待されたのです。5月には、韓国三大映画祭のひとつ「第21回全州国際映画祭」で上映。7月には、中国で唯一の国際映画製作者連盟公認の映画祭である「第23回上海国際映画祭」で上映され、多くの人の賞賛を受けました。



たがわ旬菜
パプリカピクルス



物語の中でパプリカピクルスは、幸せについて考える翔を導くひとつのきっかけとなっていきます。このパプリカピクルスが「たがわ旬菜」として商品化されました。爽やかな甘みで、大きく肉厚な田

川産ピュアパプリカ。それを、地元産の酢と合わせて彩り鮮やかなピクルスに仕上げました。そのままはもちろん、料理のアレンジにもおすすめです。



令和元年12月12日
関係者試写会

INTERVIEW

教室での撮影がどんなシーンになるのか、ワクワクしながら完成を待っていました。実際に作品を見て「こんなふうになるんだ！」と感動。進路に悩む高校生として、自分自身と映画がリンクして、共感でき、考えさせられる作品でした。そして、田川の当たり前の風景が美しく描かれていて、とても素敵なまちなんだと感じました。



主人公の同級生「なつめ」
役で教室シーンに出演
酒田真実さん
嘉穂高等学校1年生

池田監督(中央)と
高校生応援隊・
地元キャストで
パチリ



令和元年12月12日、地元キャストや高校生応援隊など、映画関係者約140人に向けた試写会が行われました。この日は、池田エライザ監督が登壇。池田監督は「地元のみなさんの協力のおかげで、無事に映画を完成させることができました。田川の大好きなところがいっぱい詰まった作品を、どうぞ楽しんでください」と笑顔で話しました。



“夏、至るころ” 12.4金
公開決定

映画の世界を見て味わう。食べて味わう。

田川の食や風景がたくさん登場する、世界に1つしかないオリジナルの作品を味わおう。



令和元年10月5日、高校生応援隊のメンバーが「ホルじゃが」づくりに挑戦。撮影の思い出話を花を咲かせながら、映画の味を楽しみました。

甘い香りがふわり。
食欲をそそります。

住民発案新メニュー
ホルじゃが

田川のソウルフード「田川ホルモン鍋」をヒントに、ホルモン、タマネギ、ジャガイモをニンニクがきいた甘いタレで煮込み、仕上げにニラを入れてひと煮立ちした家庭料理。映画に登場するご当地メニューを開発する「住民参加型ワークショップ」で出されたアイデアから生まれました。今後は、映画の公開に合わせて田川地域の飲食店に登場する予定です。映画に登場する料理に携わったフードコーディネーターの寺岡祥子さんは「ヘルシーで温かみのある“誰かに作ってあげたい”料理です。ぜひ地域や家庭に愛されるポピュラーなご当地メニューになってほしい」と太鼓判。



2月24日
田川限定
特別先行試写会



VOICE

矢野勝子さん(市内在住)
「とても心に残る映画でした。田川の熱気が伝わる映画だと感じました」
山崎結月さん(大藪小学校6年生)
浦田小優紀さん(添田中学校1年生)
「この映画を通して、田川のいいところをもっと知ってもらいたいです」

2月24日には田川限定特別先行試写会が行われました。この日は、主要キャストの倉悠貴さん、石内呂依さん、安部賢一さんが登壇。三谷一夫プロデューサーが司会を務め、撮影秘話などを交えながら映画の魅力を伝えました。試写会に訪れた約370人は、映画の感動を味わいました。



左から
倉 悠貴さん
石内呂依さん
安部賢一さん



2020.2.24! 田川限定特別先行試写会

※本ページに記載している児童・生徒の学年は取材当時のものです。